

業務状況説明書(水道事業)

(令和4年4月1日から令和4年9月31日まで)

1. 令和4年度上半期の状況

(1) 事業の概況

ア. 業務

区分	令和3年度 上半期	令和4年度 上半期	比較	
			増減	前年度比
給水戸数(戸)	10,652	10,720	68	100.6%
有収水量(m ³)	1,313,450	1,302,805	△10,645	99.2%

イ. 建設改良事業

○5,000千円以上の発注済工事

(単位:円・税込)

工事名	工事費	備考
犬飼長谷地区電気設備老朽施設更新工事	62,700,000	
千歳浄水場老朽施設更新工事	8,030,000	

(2) 経理の状況

ア. 収益的収入及び支出

(単位:円・税込)

科目		現計予算額	執行額	執行率	備考
収入	水道事業収益	545,796,000	263,084,430	48.2%	
	営業収益	455,834,000	227,990,884	50.0%	
	営業外収益	89,960,000	35,092,326	39.0%	
	特別利益	2,000	1,220	61.0%	
支出	水道事業費用	573,123,000	153,774,634	26.8%	
	営業費用	520,402,000	131,308,253	25.2%	
	営業外費用	47,620,000	22,304,311	46.8%	
	特別損失	101,000	162,070	160.5%	
	予備費	5,000,000	0	0.0%	

イ. 資本的収入及び支出

(単位:円・税込)

科目		現計予算額	執行額	執行率	備考
収入	資本的収入	145,464,000	57,092,007	39.2%	
	企業債	81,000,000	0	0.0%	
	出資金	57,093,000	57,092,007	100.0%	
	工事負担金	7,370,000	0	0.0%	
	固定資産売却代金	1,000	0	0.0%	
支出	資本的支出	345,528,000	123,081,116	35.6%	
	建設改良費	114,831,000	10,711,740	9.3%	
	企業債償還金	225,697,000	112,369,376	49.8%	
	予備費	5,000,000	0	0.0%	

ウ. 地方債の状況

(単位:円)

前年度残高	上半期中		年度末残高	備考
	借入額	償還金		
3,100,900,955	0	112,369,376	2,988,531,579	

2. 令和3年度決算の概要

(1) 事業の状況

ア. 業務

区分	令和2年度	令和3年度	比較	
			増減	前年度比
計画給水人口(人)	25,325	25,325	0	100.0%
年度末給水人口(人)	23,214	22,859	△ 355	98.5%
普及率(%)	91.7	90.3	△ 1.4	98.5%
年度末給水戸数(戸)	10,659	10,683	24	100.2%
年間有収水量(m ³)	2,582,675	2,603,823	21,148	100.8%
年間総配水量(m ³)	3,650,955	3,598,077	△ 52,878	98.6%
有収率(%)	70.7	72.4	1.7	102.4%
日最大配水量(m ³)	10,887	10,342	△ 545	95.0%
日平均配水量(m ³)	10,003	9,858	△ 145	98.6%
1人1日平均配水量(ℓ)	431	431	0	100.0%
1人1日平均有収水量(ℓ)	305	312	7	102.3%

イ. 建設改良事業

建設改良工事では、98,564,092円の事業費をもって、施設関係では、三重町大原配水池加圧ポンプ制御盤更新工事、大野浄水場膜ろ過装置更新工事等を実施しました。配水管路については、緒方地区配水管更新工事、三重町深田地区配水管布設工事等を実施しました。また、県道改良工事に伴う配水管移設工事を実施しました。

○5,000千円以上の工事

(単位：円・税込)

工事名	工事費	備考
深田地区配水管布設工事	16,594,600	
緒方地区配水管更新工事	19,360,000	
深田地区老朽管更新工事	7,835,300	
大原配水池加圧ポンプ制御盤更新工事	18,619,700	
大野浄水場膜ろ過装置更新工事	10,560,000	

(2) 経理の状況

ア. 収益的収入及び支出

本年度の収益的収入は、予算額545,381,000円に対し、決算額550,581,760円(うち消費税及び地方消費税額 41,475,970円)で、5,200,760円の増となっています。また、前年度に比べ税抜金額で1,435,271円(△0.3%)の減となっています。内訳として、営業収益で1,841,190円(0.4%)増、営業外収益で2,839,170円(△2.9%)減、特別利益で437,291円(△100.0%)減となっています。

一方、収益的支出は、予算額580,713,000円に対し、決算額572,321,744円(うち消費税及び地方消費税額 26,071,801円)で8,391,256円の残額となっています。また、前年度に比べ税抜金額で4,016,519円(0.7%)の増となっています。内訳として、営業費用で原水及び浄水費3,125,585円(1.8%)増、配水及び給水費6,327,615円(7.8%)増、総係費997,844円(2.9%)増、減価償却費7,265,587円(△3.7%)減、資産減耗費4,446,599円(124.6%)増、営業外費用で企業債利息3,675,978円(△7.2%)減、特別損失692,771円(△52.3%)減となりました。

結果、収益的収支で37,144,153円(前年比17.2%増)の当期純損失となりました。

(単位：円・税込)

科目		令和2年度	令和3年度	増減	前年度比	備考
収入	水道事業収益	551,809,116	550,581,760	△ 1,227,356	99.8%	
	営業収益	454,138,998	456,177,053	2,038,055	100.4%	
	営業外収益	97,232,827	94,404,707	△ 2,828,120	97.1%	
	特別利益	437,291	0	△ 437,291	皆減	
支出	水道事業費用	567,413,820	572,321,744	4,907,924	100.9%	
	営業費用	512,351,856	520,876,577	8,524,721	101.7%	
	営業外費用	53,735,763	50,812,997	△ 2,922,766	94.6%	
	特別損失	1,326,201	632,170	△ 694,031	47.7%	
	予備費	0	0	0	—	

イ. 資本的収入及び支出

次に、資本的収入は、予算額109,997,000円に対し、決算額112,622,142円で、2,625,142円の増となっています。また、前年度に比べて2,415,706円（2.2%）の増となっています。内訳として、企業債で6,300,000円（△11.5%）減、出資金で936,926円（1.7%）増、工事負担金で7,778,780円（2507.7%）増となっています。

一方、資本的支出は、予算額357,566,000円に対し、決算額333,213,608円（うち消費税及び地方消費税額9,026,521円）で、24,352,392円の残額となっています。また前年度に比べて税抜金額で23,827,062円（△6.8%）の減となっています。内訳として、建設改良費27,605,696円（△21.6%）減、企業債償還金3,778,634円（1.7%）増となりました。

(単位：円・税込)

科目		令和2年度	令和3年度	増減	前年度比	備考
収入	資本的収入	110,206,436	112,622,142	2,415,706	102.2%	
	企業債	54,700,000	48,400,000	△ 6,300,000	88.5%	
	出資金	55,196,236	56,133,162	936,926	101.7%	
	工事負担金	310,200	8,088,980	7,778,780	2607.7%	
	固定資産売却代金	0	0	0	—	
支出	資本的支出	359,672,748	333,213,608	△ 26,459,140	92.6%	
	建設改良費	139,524,137	109,286,363	△ 30,237,774	78.3%	
	企業債償還金	220,148,611	223,927,245	3,778,634	101.7%	
	予備費	0	0	0	—	

資本的収支差引不足額220,591,466円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額9,026,521円、当年度分損益勘定留保資金131,642,239円、建設改良積立金79,922,706円で補てんしました。

ウ. 地方債の状況

(単位：円)

前年度残高	決算年度中		前年度残高	備考
	借入額	償還金		
3,276,428,200	48,400,000	223,927,245	3,100,900,955	